



ふれあいサロン 下高場下谷地区

ひたちなか市

サロン開設年月日	平成21年10月17日
開催日及び開催頻度	月1回 第2土曜日 (10:00~12:00)
開催拠点	ひたちなか市高場1885-1 または下原公園 (県内の各公共施設を活用した開催を予定)
代表者氏名	木内 義和
1回の参加人数	平均15人
1回の運営スタッフ数	平均13人
参加費	輪投げなど参加者100円 同好会の参加者は500円~2,000円



事業名

住民同士の支え合うまちづくり事業

目的(趣旨)

- 下谷地域内に居住する住民が定期的に開催する、趣味の会やスポーツを通じて健康の維持、増進を図る仲間づくり活動を目的としています。



対象者や具体的内容

- ふれあいサロンとして、輪投げゲーム・グランドゴルフのコミュニティスポーツを下原公園で実施します。
- 同好会は、ガーデニング友の会・そば打ち&試食会・里山ハイキングの会・ゴルフ倶楽部の4種類をクラブ活動として展開します。
- 下谷地区の全体交流会として、年2回(春のお花見会・夏の納涼会)を実施して人との交流を大切に、支え合う心づくりを目指していきます(対象者は住民全員、年齢、男女に限定しません)。

財源の確保

- 下高場自治会から年に 30,000円
- ひたちなか市社会福祉協議会から 50,000円
- 茨城県社会福祉協議会から 50,000円
- 参加者から参加費として平均200円を考えています。

生活課題への対応

- 下谷地区は、昭和48年頃には13戸の農村地域でしたが、昭和50年頃から一戸建団地の造成が始まり、現在では200戸を超える新興住宅地です。しかし、地域に集会場がなく、会合は遠くの会館やコミセンで行っています。そのため自治会の役員になった人だけ交流があるが、それ以外は地域交流の場がなく地域の人間関係が希薄になり、この状態を改善したいと考えています。

継続させるための工夫

- 当サロンには、運営員7人及び協議委員5人でサロンの運営を協議してきました。また、運営委員会の委員長には下谷地区自治会長（木内）が当たり、会計担当は（川角）が受け持ち、事務を地区民生児童委員（力丸）が担当する、というように当サロンの運営体制をつくり、委員会では役割を分担して活動を継続するため努力してまいります。

サロンのPRポイント

- 地元の方々に強力な協力を得て、平成21年10月から試行的に行事を展開してきました。その結果「ふれあいサロン」を立ち上げる自信ができたことに感謝しています。

地域の社会資源の活用

- 同好会のガーデニング講習・そば打ち講習・里山ハイキング等のクラブ活動の指導者は、下谷地区の住民が受け持ち専門的な指導を行っています。これら指導者は、当サロンの運営委員のメンバーでもあります。

他のサロンにはない特徴

- 民生児童委員が中心となって、地元の方々（古くからの住民）に相談し協力を得てサロン活動を立ち上げています。
- 同好会を会員制度で立ち上げ、会員同士の仲間意識が強く得られています。
- 各同好会の指導者は運営委員の中から選出しています。



委員からの一言コメント

ふれあいサロン下高場下谷地区は、新興住宅街の空き地にありました。

地区の集会場が遠く、歩いてはいけなかつたら野外で出来る事をやればいじやないか！という発想から、6つの活動メニューを持ったサロンが誕生し、当日は、「ガーデニング同好会」が開催されていました。

参加者は、講師の説明を受けながら、準備された苗を思い思いに配置し、参加者同士がコミュニケーションを図りながら素敵な寄せ植えを完成させていました。また、野外活動のため、その場を通りかかった方が、呼び止められそのままサロン参加へと、活動の様子が生放送のように地域に配信されています。アイデア次第では、こんなサロンもあります。場所の確保に悩んでいるサロン運営者の方、ぜひご参考に。

（事務局 小林ひとみ）